

パラグアイ内政・外交報告（11月分）
政治情勢

2019年12月作成

1 内政

（1）法務大臣の交代

13日、オベラル法務大臣が健康問題のため辞任し、ペレス犯罪政策担当副大臣が後任の法務大臣に任命された。

（2）伯連邦裁判所によるカルテス前大統領に対する逮捕状発出

19日、マルセロ・ブレタス伯連邦裁判所第7法廷（リオ・デジャネイロ）裁判官は、ラヴァ・ジャット作戦の一環として、オラシオ・カルテス前大統領に対する逮捕状を発出し、国際刑事警察機構（インターポール）に国際手配書（赤手配書）を要請した。伯メディア「オ・グロボ」によれば、カルテス前大統領は、同前大統領の「魂の兄弟」と呼ばれ「闇両替商中の闇両替商」として知られるダリオ・メッセルの逃亡を幫助した疑いがもたれている。（ラヴァ・ジャット作戦とはブラジル国営石油会社のペトロbrasに対するブラジル当局の不正疑惑捜査を指す。）

（3）クーバス上院議員の議員資格剥奪

29日、上院はクーバス上院議員がミンガ・ポラ市において警官への暴力事件を引き起こしたとして、議員資格剥奪を議決した。

2 外交

（1）ホベル・グアテマラ外相のパラグアイ訪問

11日、リーバス外相は、パラグアイを訪問中のホベル外相と会談した。両外相は、第2回政策協議において、在パラグアイ・グアテマラ大使館の開館及び在グアテマラ・パラグアイ大使館の開館に表される良好な二国間関係につき意見を交わした。同日、ホベル外相は在パラグアイ・グアテマラ大使館開設式にリーバス外相とともに出席した。

（2）パラグアイのモラレス・ボリビア前大統領の亡命にかかる対応

12日、リーバス外相はモラレス・ボリビア前大統領の亡命に関して以下のとおり発言した。

ア：パラグアイは、モラレス前大統領に政治的庇護を提供する用意があった旨を示したが、（ボリビアから）どのような要請も受けなかった。

イ：亡命受け入れの用意は、兄弟国ボリビアで発生している事態に対するパラグアイ政府の懸念、制度の尊重、昨11日に行った対話、調和、平穩への呼びかけに基づき行われた。

ウ：12日午前1：45にモラレス前大統領は、政治的庇護を提供したメキシコ外務省からの（パラグアイ政府への）要請に基づき、燃料と食糧の補給及び他国

空域の飛行に向けた許可手続きを行うために、メキシコ空軍の航空機でパラグアイに到着した。アルベルト・フェルナンデス・アルゼンチン次期大統領（当時）も仲介した。手続きが完了した後、同機は午前4：55にメキシコに向けて出発した。

エ：パラグアイは他国の首長及び政治家の政治的庇護を提供する歴史的伝統を有している。

（3）アルマグロ米州機構（OAS）事務総長のパラグアイ訪問

18日、アブド・ベニテス大統領は、パラグアイを訪問中のアルマグロOAS事務総長と会談した。アルマグロ事務総長は、米州における民主主義の擁護、人権及び開発・治安のためのOASの制度の促進におけるパラグアイの役割を評価した。

3 要人往来

（1）来訪

- 北岡国際協力機構理事長-JICA 理事長（公式訪問）
- ホベル・グアテマラ外相（グアテマラ大使館開設式典）
- アルマグロ OAS 事務総長（公式訪問）
- メルロ伊外務副大臣（上院議員）（ラテンアメリカ領事ネットワーク会合出席）

（2）往訪

- ペレス司法相代行（当時）、伯フォス・ド・イグアス（メルコスール司法大臣会合出席）
- オビエド環境・持続的開発相、韓国・ソンド（第24回緑の基金理事会出席）
- ペラルタ情報相、韓国・ソウル（ITC2019 グローバル・リーダーシップ・フォーラム出席）
- ペッタ教育相、カタール・ドーハ（世界イノベーション教育サミット出席）
- ソト国防相、台湾（公式行事出席）